

日鉄鋼板株式会社

本社・鋼板営業第一部 TEL.(03)6848-3710 (代) FAX.(03)6848-3757
東北支店 TEL.(022)264-9861 (代) FAX.(022)264-9866
名古屋支店 TEL.(052)564-7258 (代) FAX.(052)564-4759
大阪支店 TEL.(06)6228-8330 (代) FAX.(06)6228-8506
九州支店 TEL.(092)281-0051 (代) FAX.(092)281-0230
北陸営業所 TEL.(076)432-9898 (代) FAX.(076)442-2924
広島オフィス TEL.(082)221-3408 (代) FAX.(082)502-0413

<https://www.niscs.nipponsteel.com>

信頼と革新がひとつに融合した次世代の鋼板

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE®

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE® プレミア *Premiere*

Nippon Steel Coated Sheet, Nittetsu Nisshin Steel Building Materials, and Tokai Color—each with a long history of cultivating technologies and product excellence—have now come together as one.

By combining our individual strengths, we have achieved a new level of performance in metal building materials.

We invite you to discover the new steel sheet born from this fusion of technologies—a presence that embodies refined quality and sophistication.

※記載された試験データは当社で実施した試験データの一例であり、その結果を保証するものではありません。

※SGL UNITE、エスジーエルユナイト、SGL、エスジーエル、エスジーエル \ SGL、ガルバリウム鋼板、セリオスプライム、SELIOS Prime、ニスクカラー Pro、NISC COLOR Pro は日鉄鋼板(株)の登録商標です。

※本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。

日鉄鋼板、日鉄日新製鋼建材、東海カラー。それぞれが長年培ってきた技術と製品力が、ひとつに結集。
互いの強みを掛け合わせることで、金属建材としてさらなる性能の進化を遂げました。
技術の融合から生まれた新たな鋼板、上質で洗練された存在感をぜひご覧ください。

東海カラー | TOKAICOLOR GL.15 IBUKI
トーカイカラーGL・15いぶき

2006

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE®

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE® プレミア Premiere

美しさも、強さも、未来のために。

SGL UNITE の由来

SGLユナイトは、次世代ガルバリウム鋼板「SGL」に融合・合体・一体化を意味する「Unite」を
組み合わせた言葉です。SGLにさまざまな機能、個性を加える塗装技術を融合させ、屋根・外壁を
はじめとする金属建材の可能性を開きたいという思いを乗せました。
また、日鉄鋼板はさまざまな背景を持つ企業・社員が集まった会社であり、それぞれの持つ強みを
組み合わせ、未来に向けてより高い価値を社会に提供していこうという決意も含んでいます。

SGLが実現する 30 年保証

昨今の建築物への高耐久・長寿命ニーズ、環境配慮ニーズへの対応の
ためSGL UNITEでは最長30年の基材(穴あき)保証を付与しました。
長期評価に基づき厳正に設計した次世代ガルバリウム鋼板「SGL」
だからこそ実現することができ、住まいにさらなる安心を提供します。

エスジーエル
次世代ガルバリウム鋼板 SGL®

2019

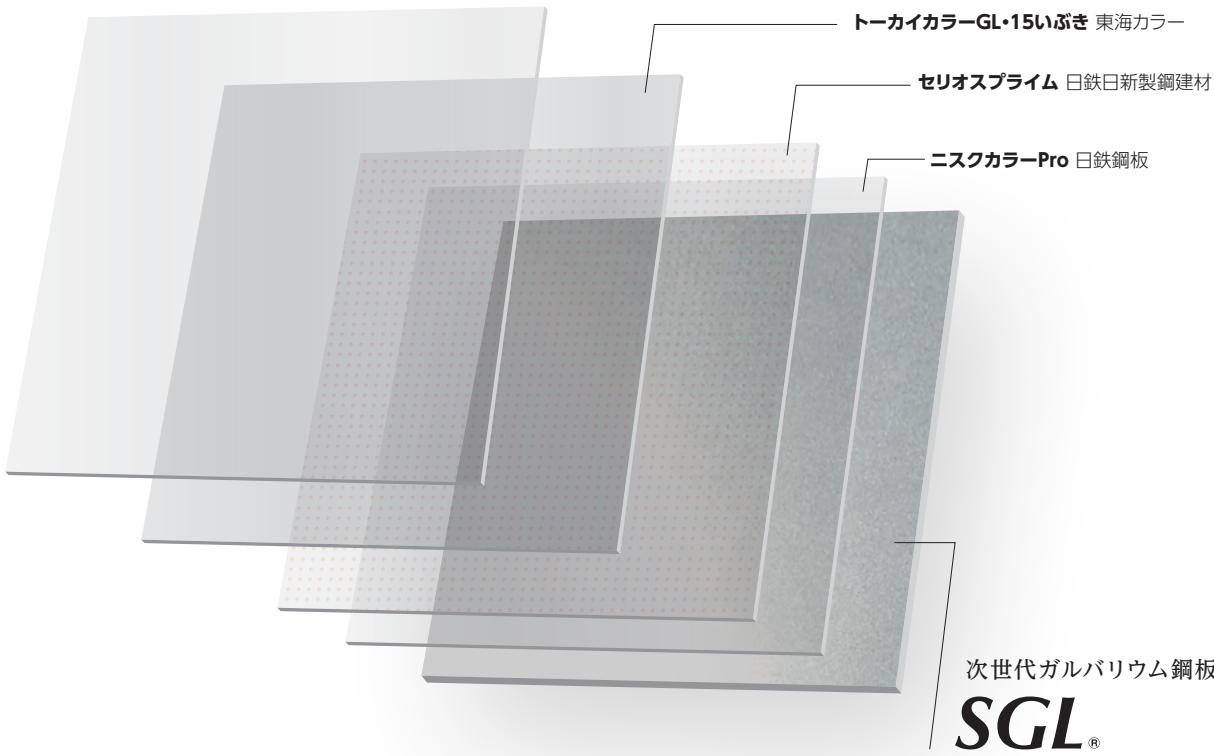
ニスクカラーPro
NISC COLOR Pro® | 日鉄鋼板

2017

セリオスプライム
日鉄日新製鋼建材 | SELiOS Prime®

CONTENTS

SGL UNITE 概要	03
SGL UNITE COLOR SAMPLE	05
SGL UNITE Premiere 概要	07
その他諸性能・保証制度	09
使用上の注意	10
メンテナンス	14

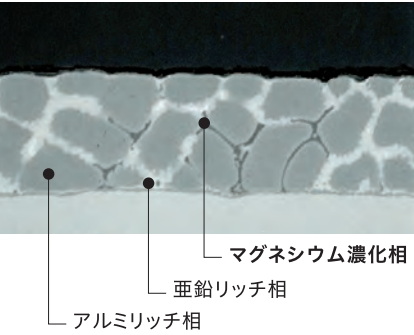


3社の技術の融合と結集により
耐候性、耐傷付性が
これまで以上に向上しています



About SGL

■ エスジーエルとは？



SGLは、従来のガルバリウム鋼板の構造を受け継ぎながら、マグネシウムを加えることで耐食性をさらに高めた次世代の鋼板です。
特に過酷な環境下でも、優れた耐久性を発揮し長く安心して使える素材として選ばれています。



10年経っても膨れ・白錆の差は明確



調査物件外観 ※新潟県、外壁、離岸距離 60m

一般的に、塗膜は腐食促進物質（水・酸素等）の侵入を抑制できますが、完全には遮断できません。時間が経つと平面部からも腐食が進むため、塗膜だけでは限界があり、めっきによる耐食性の強化が重要です。
こちらは同一壁面に塗装 GL と塗装 SGL（両者の塗膜は同じもの）を張り合わせて施工した物件の経年観察結果ですが差は歴然です。耐久性の向上にはめっきの性能が非常に重要となります。

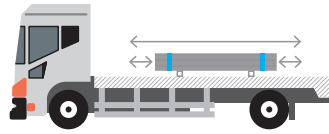
SGL UNITE Point1.

■ 技術の融合による
耐傷付き性の向上

3社の骨材・ワックス技術の融合に加え、塗膜全体の設計を最適化することで、耐傷付き性が向上しました。
加工・輸送・施工時の負荷を軽減し、現場での安心感を高めます。

〈輸送傷を想定した試験：評価結果〉

トラック輸送時の傷発生を想定した試験を実施。1枚の成型品の上に、同じ成型品10枚をバンドで結束して載せ、20往復の摺動を行いました。その後、最下層の成型品に生じた傷の有無と程度を確認しました。



試験風景

※ 当評価のような取り扱い方を推奨するものではありません。
従来通り丁寧な取り扱いをお願いいたします。



耐傷付き性の向上を確認

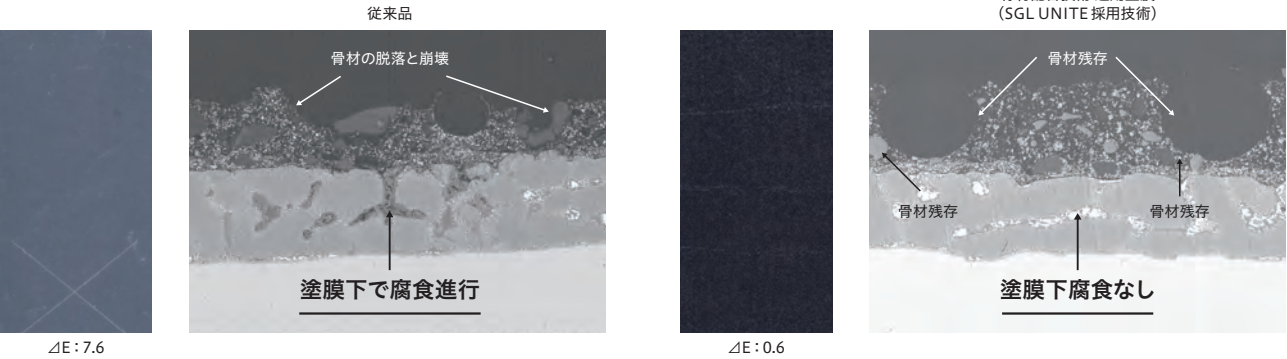
塗膜削れなし

SGL UNITE Point2.

■ 技術の結集による
耐候性の向上

当社独自の研究により、経年による変色は、骨材の崩れから始まる腐食が影響することが判明しました。
SGL UNITE は独自の骨材配合技術により、耐候性の向上を実現しています。

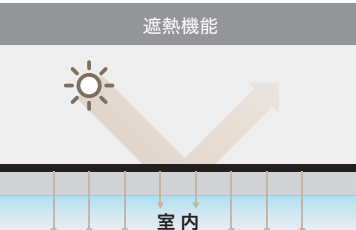
〈高耐候化技術の例〉



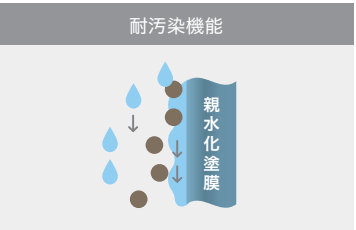
SGL UNITE Point3.

■ 遮熱機能、耐汚染機能を標準装備

濃色には遮熱顔料を配合し、日射反射率を高めて鋼板表面の温度上昇を抑制。
淡彩色には親水化塗膜を採用し、汚れが付きづらく清掃で落としやすくします。



日射を効率的に反射。屋根温度の上昇を抑え、室内環境の改善・ヒートアイランド現象抑制に貢献します。



塗膜表面に親水性（水になじみやすい性質）を付与。降雨時や清掃時に汚れが流れ落ちやすくなります。

COLOR SAMPLE

つや消し16色、つやあり15色の豊富なカラーラインナップから、お好みの外観を自由に選べます。
シックで落ち着いた印象から、鮮やかで華やかな仕上がりまで、用途やデザインに合わせて最適な色を実現できます。

つや消し ※印刷のため、実物の色相とは多少異なる場合があります。色見本帳でご確認ください。

NU201
ブラック
日射反射率 40%
マンセル値 1.8P 2.1/0.1

NU202
パールブラック
日射反射率 42%
マンセル値 8.4B 2.5/0.3

NU231
コゲチャ
日射反射率 42%
マンセル値 0.1YR 2.6/0.5

NU232
モカブラウン
日射反射率 42%
マンセル値 1.7YR 2.4/1.0

NU221
レッドブラウン
日射反射率 44%
マンセル値 1.0YR 2.8/2.6

NU241
オレンジ
日射反射率 52%
マンセル値 2.4Y 4.6/6.1

NU211
ネイビーブルー
日射反射率 43%
マンセル値 1.9PB 2.0/2.3

NU251
モスグリーン
日射反射率 45%
マンセル値 2.3G 3.2/1.4

NU292
ギングロ
日射反射率 43%
マンセル値 9.8B 4.0/0.3

NU271
マットグレー
日射反射率 51%
マンセル値 4.0GY 5.2/0.5

NU252
ロクショウ
日射反射率 60%
マンセル値 4.1BG 5.6/4.1

NU293
ゴールド
日射反射率 49%
マンセル値 1.2Y 5.7/1.0

NU281
グレージュ
日射反射率 54%
マンセル値 4.2Y 5.7/0.7

NU291
マットシルバー
日射反射率 51%
マンセル値 0.9B 6.1/0.4

NU294
ブルーメタリック
日射反射率 53%
マンセル値 4.3B 6.1/1.4

NU261
コットンホワイト
日射反射率 67%
マンセル値 4.8Y 8.8/0.6

つやあり ※印刷のため、実物の色相とは多少異なる場合があります。色見本帳でご確認ください。

NU297
メタリックブラウン
日射反射率 43%
マンセル値 7.3YR 2.5/0.9

NU212
ブルー
日射反射率 46%
マンセル値 4.9B 2.9/5.7

NU222
レッド
日射反射率 48%
マンセル値 0.7YR 2.7/8.5

NU253
グリーン
日射反射率 44%
マンセル値 5.5G 3.0/4.8

NU296
シルバーブラウン
日射反射率 50%
マンセル値 0.7Y 4.4/1.0

NU272
グレー
日射反射率 56%
マンセル値 2.6BG 5.7/0.5

NU286
スモークピンク
日射反射率 57%
マンセル値 5.8YR 6.0/1.9

NU254
ウグイス
日射反射率 60%
マンセル値 8.8GY 6.6/2.2

NU273
アッシュグレー
日射反射率 58%
マンセル値 8.1YR 6.8/0.2

NU295
シルバー
日射反射率 61%
マンセル値 3.3BG 6.4/0.1

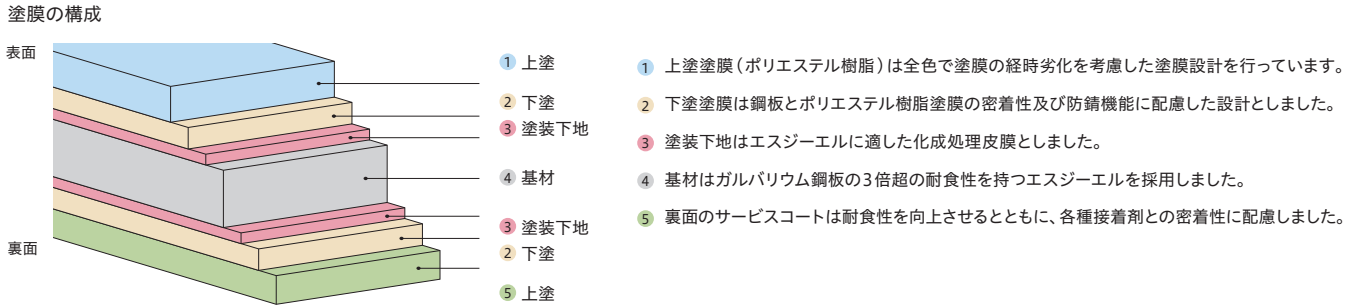
NU282
ページュ
日射反射率 49%
マンセル値 2.8Y 7.5/1.9

NU283
アイボリーホワイト
日射反射率 63%
マンセル値 7.9Y 8.2/1.1

NU284
クリーム
日射反射率 62%
マンセル値 4.0Y 8.4/1.6

NU285
サンドホワイト
日射反射率 51%
マンセル値 7.3Y 7.8/0.6

NU262
ホワイト
日射反射率 65%
マンセル値 9.6G 8.8/0.3



標準仕様【SGL UNITE・SGL UNITE Premiere 共通】

基材の種類	めっき付着量記号	厚さ	幅	製品形状
エスジーエル 2%マグネシウム添加 ガルバリウム鋼板	AZ150	0.27 ～ 1.0mm	610 ～ 1219mm	コイル

※標準仕様以外はお問い合わせください。

JIS G 3322規格品
不燃認定 NM-8697

アイコンの見方

機
能

遮熱
耐汚染

保
証

変退色15
変退色
最長15年

全 色

塗膜(ふくれ・はがれ) : 最長15年保証
基材(穴あき) : 最長30年保証

静かに際立つ、上質な存在感。

SGL UNITE Premiereは、落ち着きと深みをもたらすマットな質感が特長。重厚で高級感のある仕上がりが外観に品格を添え、美しい色彩が長く色あせずにその魅力を保ちます。独自の塗装技術により太陽光の反射を抑え、色本来の深みを自然に引き立てます。厳選された12色が、こだわりの建築に美しく調和し、確かな技術でその価値を高めます。

保証

塗膜
(変退色)
最長
15年
[海岸500m以遠]

塗膜
(ふくれ・はがれ)
最長
15年
[海岸500m以遠]

基材
(穴あき)
最長
30年
[海岸500m以遠]

保証には別途条件があります。

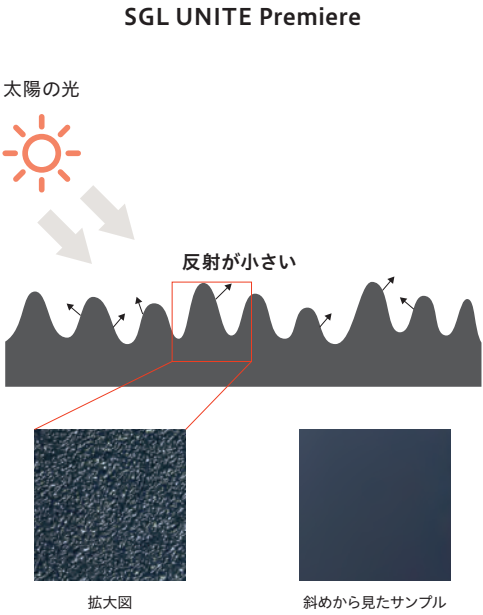


SGL UNITE Premiere Point1.

■ 極低光沢で高級感のある独自意匠

SGL UNITE Premiereは新しい艶消し手法により、従来にないマット感を有しています。直射日光による表面のざらつきを抑制する極低光沢の仕上がりで高い発色性を持っており、従来の塗装銅板に比べ、重厚かつ落ち着いた外観を生み出します。

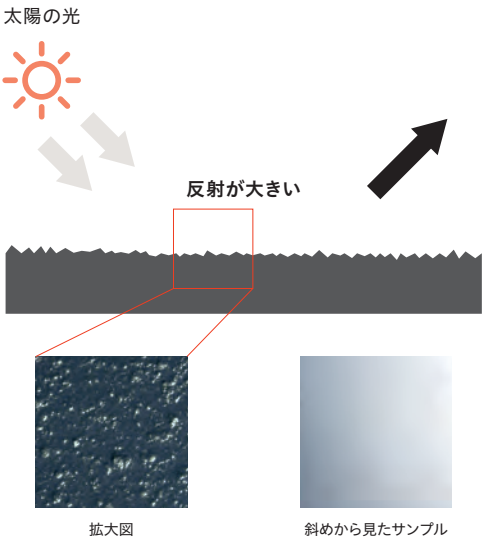
〈塗膜断面図(イメージ)〉



断面の凹凸が大きく太陽の光を反射しづらい
塗膜の凹凸構造により太陽光の反射を抑制し、どの角度からでも深みのある落ち着いた色味を実現



一般つや消し品

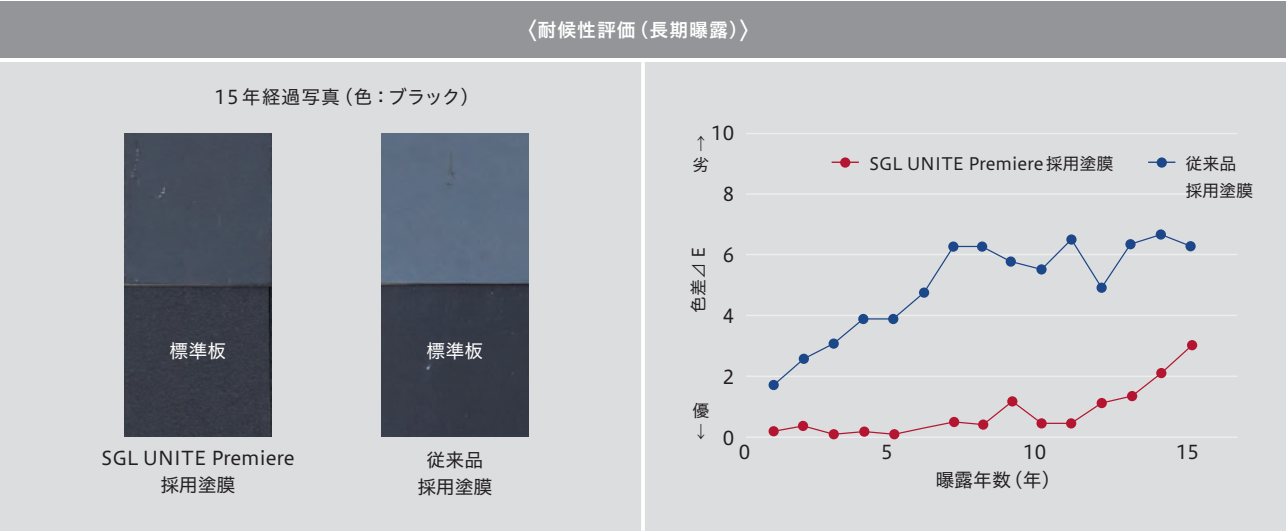


断面の凹凸が小さく太陽の光を反射するため白っぽくなる
骨材で光沢を抑えても微細な平滑面が鏡面反射を生み、角度によって色味や質感にばらつきが出る

SGL UNITE Premiere Point2.

■ 耐候性の実証

SGL UNITE Premiereは、他に類を見ない上質な外観のみならず、これまでのポリエステル樹脂の常識を超える高い耐候性を備えているため、長期的な美観維持を実現します。



SGL UNITE Premiere Color Lineup

■ 空間に深みと彩りを添える、こだわりの12色。

それぞれの色が持つ個性が、建築に豊かな表情をもたらします。

全 色

遮熱塗装品
塗膜(変退色): 最長15年保証
塗膜(ふくれ・はがれ): 最長15年保証
基材(穴あき): 最長30年保証

PU001
ノクターンブラック
日射反射率 41%
マンセル値 5.8PB 2.4/0.7

PU002
フェザーブラック
日射反射率 41%
マンセル値 2.7YR 2.9/0.1

PU031
シックブラウン
日射反射率 41%
マンセル値 6.1YR 2.8/0.5

PU032
マホガニーブラウン
日射反射率 41%
マンセル値 7.2YR 2.9/0.7

PU011
ディープネイビー
日射反射率 42%
マンセル値 9.9B 2.5/1.7

PU051
ボトルグリーン
日射反射率 42%
マンセル値 4.2G 2.8/1.0

PU091
メタルグレイン
日射反射率 44%
マンセル値 4.5Y 3.7/0.2

PU021
ラスティークージュ
日射反射率 47%
マンセル値 9.5Y 3.1/3.6

PU092
アンティークゴールド
日射反射率 45%
マンセル値 0.5Y 3.9/2.3

PU052
フォレストカーキ
日射反射率 35%
マンセル値 6.8G 4.0/2.0

PU041
サンセットオレンジ
日射反射率 46%
マンセル値 5.8YR 5.0/6.4

PU012
フロストブルー
日射反射率 49%
マンセル値 9.3B 5.8/4.8

※印刷のため、実物の色相とは多少異なる場合があります。色見本帳でご確認ください。

その他諸性能

さまざまな試験で性能を検証しています。

注) 試験データは、当社内試験での標準データであり、保証値ではありません。

項目	試験方法		試験結果	
			SGL UNITE	SGL UNITE Premiere
耐薬品性	苛性ソーダ	5% 水溶液浸漬、48 時間	異常なし	異常なし
	塩酸		異常なし	異常なし
	硫酸		異常なし	異常なし
耐ガス性	亜硫酸ガス	100%、20℃、48 時間	異常なし	異常なし
	アンモニアガス		異常なし	異常なし
耐溶剤性	アセトン	溶剤浸漬、1000 時間	異常なし	異常なし
	シンナー		異常なし	異常なし
	エタノール		異常なし	異常なし
加工性	折り曲げ (20℃)	180°曲げ	0T 異常なし	0T 異常なし
		180°曲げクラック	7T クラックなし	5T クラックなし
	折り曲げ (-5℃)	180°曲げ	0T 異常なし	0T 異常なし
		180°曲げクラック	8T クラックなし	6T クラックなし
	衝撃	20℃	異常なし	異常なし
密着性	碁盤目エリクセン	20℃	異常なし	異常なし
		-5℃	異常なし	異常なし
		沸水 6 時間	異常なし	異常なし
耐熱性	100℃	1000 時間	異常なし	異常なし
塗膜硬度	鉛筆硬度	JIS G3322 による	合格	合格

保証制度

次世代ガルバリウム鋼板「エスジーエル」に当社の塗膜強化技術を結集。
充実の保証制度があります。

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE®

海岸 500m 以遠

塗膜

変退色 (※一部色相)

最長 15 年

塗膜

ふくれ・はがれ

最長 15 年

基材

穴あき

最長 30 年

エスジーエル ユナイト

SGL UNITE®

プレミア
Premiere

海岸 500m 以遠

塗膜

変退色

最長 15 年

塗膜

ふくれ・はがれ

最長 15 年

基材

穴あき

最長 30 年

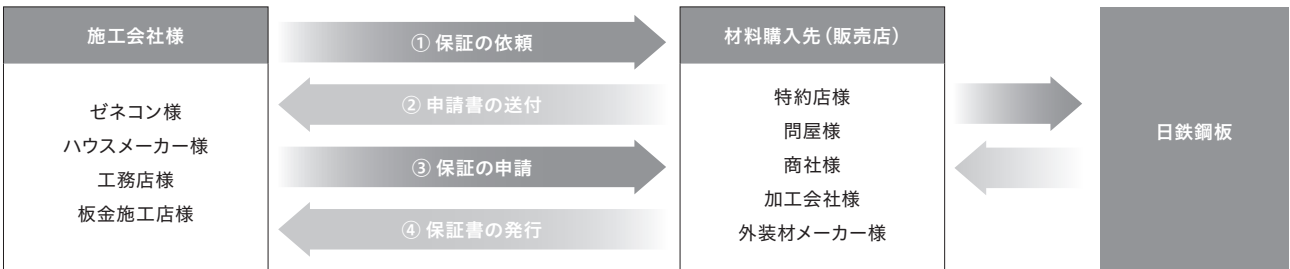
メーカー保証

当社指定の保証書発行申請書により、当社から保証書の発行を受けた方に適用します。

なお、保証適用には保証書の保持を必要とします。

保証には別途条件があります。くわしくは販売店様へお問合せください。

保証書発行の流れ



使用上のご注意



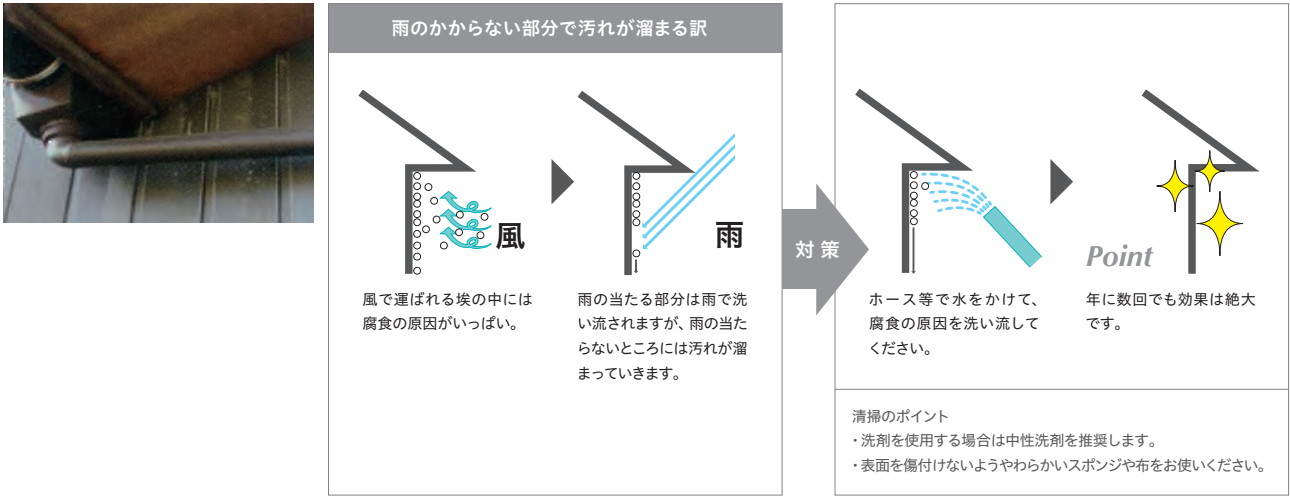
エスジーエルおよびその塗装品は、ガルバリウム鋼板の耐食性を向上させためっき鋼板ですが、ガルバリウム鋼板同様、誤った使用をすると腐食が発生することがあります。エスジーエルの優れた性能を発揮させるために、以下の注意点を熟読され、正しい使用方法・用途にてお取扱いただきますようお願いいたします。

お施主様へ

1. 雨掛かりしにくい部分での早期腐食にご注意ください。

雨がかかりにくい部分においては、塩分や酸性の腐食原因物質が雨で洗い流されずに濃縮され、腐食が進行してしまうことがあります。そのため、軒下、庇やバルコニーの下の雨がかかりにくい箇所は定期的に水をかけ、腐食原因物質を洗い流すことを推奨いたします (水洗いの際には屋内への漏水に注意ください)。

雨掛かりしにくい部分での早期腐食事例



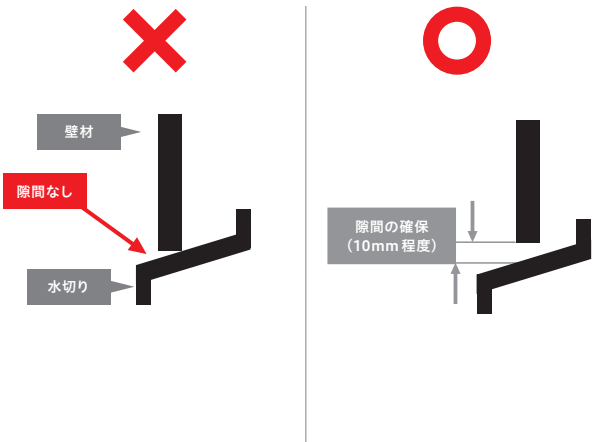
設計、加工・施工業者様へ

2. 壁材と水切部材とのあいだに隙間を確保してください。

壁材と部材の取合い部分において水抜け用の隙間を確保しておかないと、銅板端部に水が溜まりやすくなり、壁材の銅板端部からの腐食が発生しやすくなります。そのため、壁材と部材との間には水が抜けるような隙間を確保してください。(10mm 程度)

3. コンクリートとの接触を避けてください。

コンクリートは水に濡れるとアルカリ成分が溶出し、接触している銅板のめっき層を溶解させます。コンクリートとは絶縁させるとともに、雨水や結露の水分が浸入しないような構造を確保してください。

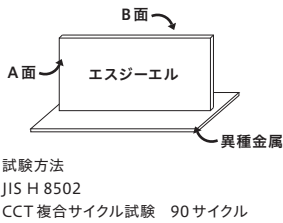


コンクリートとの接触による腐食事例

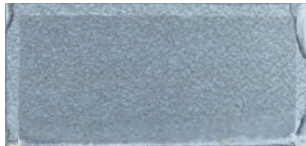


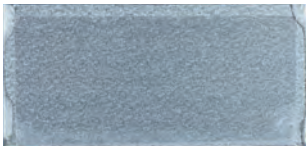
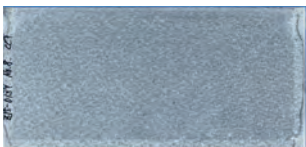
4. 異種金属との接触による腐食にご注意ください。

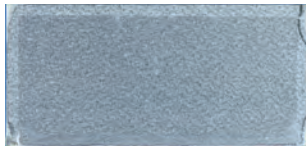
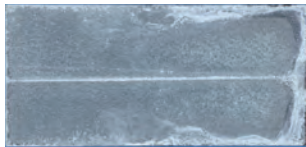
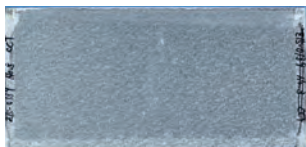
金属は一般的に、異なる種類の金属との接触により、どちらか電氣的に卑な金属の方が腐食します。この現象は「電食」と呼ばれます。電食はガルバリウム鋼板、エスジーエル、塗装鋼板でも発生します。よく見られるのは銅やステンレスとの接触により腐食し、穴あきに至るケースです。接触せざるを得ない場合は、コーキング、ゴムシート等により絶縁してください。



銅板との接触	
A面	
異種金属	
B面	

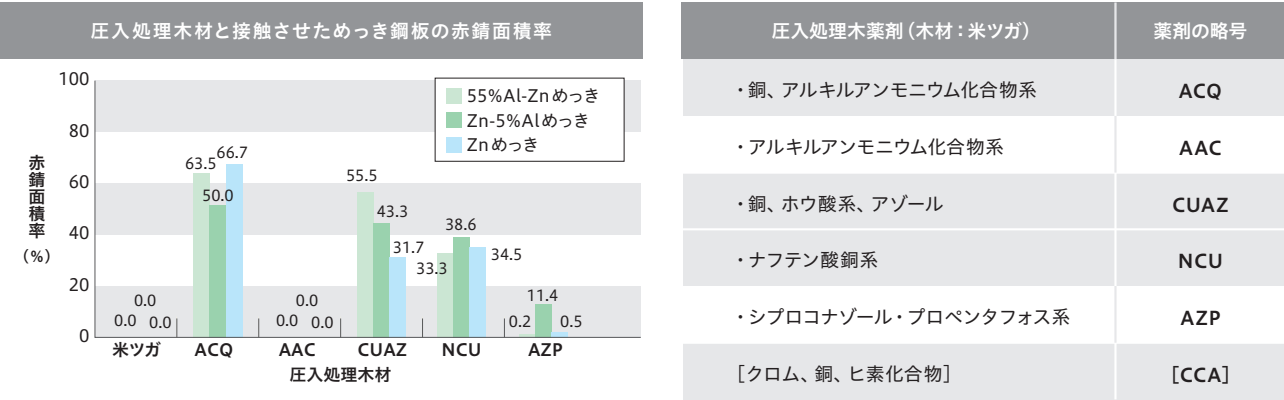
ステンレス (SUS304) との接触	
A面	
異種金属	
B面	

アルミニウム板との接触	
A面	
異種金属	
B面	

同種金属との接触	
A面	
異種金属	
B面	

5. 防腐・防蟻剤処理した木材との接触腐食にご注意ください。

最近、木材の耐久性を上げるために防腐・防蟻処理された木材が多く使用されるようになってきました。特に銅を含有する処理剤を含んだ木材と銅板が接触し、さらに結露水等の水分が介在した場合、非常に短期間で銅板を腐食させます。そのため木材との接触部分はルーフィング等により絶縁するとともに、雨水や結露水等が流れ込まないような構造になるようご配慮ください。



6. 屋根の緩勾配による水溜まりにご注意ください。

折板屋根の施工においては、水溜まりができないよう十分な勾配を確保するようにお願いします。折板屋根以外についても、各製品ごとに定められた勾配を確保いただきますようお願いいたします。

7. 異ロット品の同一面への張り合わせはできるだけ避けてください。

ロット間での外観や色調のバラツキの低減については安定化に努めていますが、異ロットを同一面で張り合わせた場合、色違いに見える場合があります。そのため異ロット品を同一面で張り合わせることではできるだけ避けていただいた方が安全です。やむを得ず張り合わせが生じる場合は、部材への転用や、目立ちにくい部分でのご使用等のご配慮をお願いいたします。

8. 同一方向に成形・施工されるようご注意ください。

とくにメタリック系の色相は見る方向によってはまったく違う色に見える場合があります。同一方向に成形・施工をされるようご注意ください。

方向違いによる色違いの例



9. 施工時のすべり落ちにご注意ください。

成形品を屋根上にのせる場合、すべり落ちることがないように、すべり止めなどの処置をしてください。

10. 施工時の傷付きに注意ください。

土のついた靴で鋼板上を歩行したり、成形品の取り扱いが粗い場合などで発生したキズ付き部分より腐食が発生する例が見受けられます。施工時には鋼板へのキズ付きに十分ご注意ください。

11. 施工後は鋼板表面を清掃してください。

施工時の切粉、ビス・番線の置き忘れやアンテナ固定用針金等が錆びることによって、もらい錆となる可能性があります。そのため、施工後は屋根上に残留物がないう清掃を実施し、針金等のもらい錆にご注意願います。

使用上のご注意（まとめ）

1. 運 搬

製品の搬入・搬出、倉庫や施工現場での移動時には、ワイヤーロープを直接製品に掛けないでください。

2. 保 管

製品は屋内で梱包状態のまま保管してください。
やむを得ず屋外保管する場合は、地面に直接置かず、防水シートを掛け、長期間放置しないでください。
水濡れした場合は速やかに成形し乾燥させてください。積み重ねた状態のまま濡らすことは避けてください。

3. 取扱方法

鋼板同士を過度に擦り合わせると塗膜裏面が表面に取られ汚れとなりますのでご注意ください。
また地面の上や凹凸のある箇所で引きずったり、鋼板・金具・刃物などの尖った物に接触させて傷を付けないようにしてください。
傷は美観を損なうだけでなく耐久性にも影響しますので丁寧な取り扱いをお願いします。

4. 補 修

傷がついた場合は専用補修塗料で補修してください。補修塗料は販売店にご相談ください。
補修箇所は完全には同一色になりませんので、なるべく施工時に傷をつけないようご注意ください。
また、塩害地域では切断部の端面補修を推奨します。

5. 成形加工

ベンダー加工、ロールフォーミング、プレス成形などでは塗膜剥離を防ぐため緩やかな加工Rを確保してください。寒冷時は加温加工を推奨します。
ロール成形時はロールの汚れ・異物付着・傷を事前に点検し、清掃してください。
成形加工時や運搬時に塗膜表面が受けた圧迫痕が発生することがあります。これは通常プレッシャーマークと呼ばれるもので傷や摩耗とは異なり、一般的には経時または加温により回復します。

6. 取付け金具

異種金属接触による腐食を避けるため、取付け金具は耐食性に配慮して選定してください。
塩害地域ではプラスチックキャップ、防水パッキン、防水塗料などを併用し、水が接触部に侵入しないようにしてください。

7. 屋根勾配

屋根施工時には、水溜まりが生じない勾配を確保してください。

8. 汚れの除去

油汚れは家庭用中性洗剤で除去してください。取れない場合はアルコールを布に含ませ拭き取った後、水洗いしてください。

9. コーキング材

SGL UNITEの耐久性に見合う高品質の製品を使用してください。
シリコン系または変成シリコン系を推奨します。
プライマーが必要な場合もあるため、使用に際してはコーキング材メーカーに確認してください。

10. 切粉・鉄粉の除去

屋上作業で発生した鉄粉・切屑・釘などを放置すると赤錆が発生し腐食の原因となります。早めに水洗いしてください。
また、鳥の糞・砂・泥・落ち葉などの堆積も塗膜に有害なため都度清掃してください。

11. 金属粉末の多い環境での表面変色

周囲に金属取り扱い工場やスクラップ工場・置き場等があり鉄粉などの金属粉末が多く飛来する環境では表面変色に至り洗浄等でも汚れが落ちなくなることがあります。金属粉末が多く飛来する環境のご使用は十分にご注意ください。

12. 下地材

裏面は防錆処理されていますが、断熱・結露防止・防水に十分配慮してください。

13. 下葺材との接合

防錆剤処理木材・合板はめっき鋼板および塗装鋼板の耐食性に影響する場合があります。
接触部分（軒先、けらば、棟包み、雨押え、降り棟、谷部など）は絶縁用下葺材（ルーフィング、プチルテープ等）を用いて処理してください。

14. 化学・電食作用

濡れたコンクリート、湿った木材、銅・鉛等の異種金属との接触は避けてください。

15. 鉛筆等での墨出し

鉛筆に含まれる黒鉛は腐食の原因となります。墨出しには黒鉛を含まない色鉛筆等を使用してください。

16. 雨がかりのしない部位の洗浄

庇裏・軒裏など雨が当たらない部位は塩分・不純物が蓄積し腐食が進みやすいため、定期的に水洗いしてください。

17. 積雪地におけるつや消し色の使用

SGL UNITE つや消し色、SGL UNITE Premiereは表面粗度が大きく、つやあり品に比べ雪が滑りにくい可能性があります。
積雪地域で屋根に使用する場合はこの点に十分配慮してください。

18. 施工上の注意

成形品を屋根上に置く際は、滑り止め処置を施し落下を防止してください。

19. 防錆成分の溶出

裏面が常時濡れる環境では、塗膜中の防錆成分が溶出する可能性があります。設計・使用時には裏面が水分に曝されないよう配慮してください。

20. 建物の設計にあたって

建設地周辺状況や搬入路など、施工・運搬条件を十分確認し、これらを踏まえた設計を行ってください。

メンテナンス

1.SGL UNITEの塗り替えについて



塗り替え塗料の例

塗料系	コストイメージ	使用部品	推定耐久年数	推奨塗料
ウレタン系塗料	中	屋根(遮熱)	4～5年	サーモアイUV
シリコン系塗料	高	屋根(遮熱)	6～9年	サーモアイ(1液)Si
フッ素系塗料	高	屋根(遮熱)	7～10年	サーモアイ4F
ウレタン系塗料	中	壁(耐汚染)	8年	ファインウレタンU100
シリコン系塗料	高	壁(耐汚染)	13年	ファインシリコンフレッシュ
フッ素系塗料	高	壁(耐汚染)	16年	ファイン4Fセラミック

注) 推定耐久年数は、通常環境のもとで1回目の塗り替えを実施後、次の塗り替えまでの推定年数で保証するものではありません。

2. 部分補修方法について（アクリル系塗料を使用した場合の一例）

(1) タッチアップの場合

	塗料名（塗料系）	適用シンナー	希釈率	塗装方法	標準塗布量 (g / m ² / 回)	塗回数	塗り重ね乾燥時間 (20℃)
素地調整	ゴミ、ホコリ、その他の付着物は、完全に除去してください。						
上塗塗料	①補修塗料A (アクリル系)	No.105 or No.580 シンナー	0～10%	筆又は刷毛	100～140	1～2回	1時間以上 48時間以内
	②アクライトNo.500 (アクリル系)	アクライト No.500 シンナー	0～10%	筆又は刷毛	120～150	1～2回	1時間以上 48時間以内

(2) 原板が露出した場合

	塗料名（塗料系）	適用シンナー	希釈率	塗装方法	標準塗布量 (g / m ² / 回)	塗回数	塗り重ね乾燥時間 (20℃)
素地調整	ゴミ、ホコリ、その他の付着物の除去を完全に行ってください。 # 400～600 サンドペーパーを用い軽く研磨し、錆を完全に除去してください。研磨で発生した研ぎカスも完全に除去してください。						
下塗塗料	①ハイボン 20デクロ	ハイボン エポキシシンナー	0～5%	刷毛	120	1回	16時間以上 7日以内
	②ウォッシュ プライマー	ウォッシュ プライマーシンナー	0～20%	刷毛	40～120	1回	16時間以上 7日以内
上塗塗料	①補修塗料A (アクリル系)	No.105 or No.580 シンナー	0～10%	筆又は刷毛	100～140	1～2回	1時間以上 48時間以内
	②アクライトNo.500 (アクリル系)	アクライト No.500 シンナー	0～10%	筆又は刷毛	120～150	1～2回	1時間以上 48時間以内

施工上の要点	①塗り替え塗膜の寿命は、素地調整（浮き上がった旧塗膜、浮錆及び油脂、塩類等の除去清掃）の程度により多大の影響を受けます。素地調整には十分留意して下さい。 又、劣化した塗膜上への塗装は、早期剥離、発錆の原因になります。 ②補修塗装は、浮き上がった旧塗膜、浮錆等を除去した後、素地の露出した部分及び仕上げの際、膜厚不足になりやすい部分に素地調整後速やかに行ってください。 ③補修塗装は・原則として刷毛塗りで行い・凹凸箇所に塗料がゆきわたるように念入りに塗り込んでください。
注意事項	①この塗料の乾燥時間は、低温になると著しく遅くなります。乾燥過程で種々の塗膜欠陥を生じるおそれがありますので、5℃以下の気温が連続する場合は施工しないでください。 ②常温乾燥型の塗料です。特にタッチアップ塗装の場合、元の部分とは耐候性に差があります。補修面積は極力少なくするように願います。 ③塗り替え及び補修塗料については、色相により塗料メーカーが異なりますのでご注意ください。